



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamoi/>

かもい

横浜市立鴨居中学校

学校だより6月号

令和8年6月23日



鴨居中学校 note

感情を言葉にすること

校長 長島 和広

進学進級して3か月。修学旅行や校外学習、体育祭を経て、クラスや部活動で新たな人間関係ができているのかなと思います。一方で、生活の振り返りやいじめアンケートなどで人間関係に悩んでいる人がいることも先生たちは把握しています。多くは、心ない言葉がけや陰口といったものです。あなたの日頃の言葉遣いはどうですか？

「死ね」「うぜー」「きもい」という言葉は、短くて簡単に口にできます。でも、その言葉は**相手の心に深く残ります**。そして、言った自分の気持ちも、本当には伝わりません。

大切なのは、「自分はいま何を感じているのか」を一度考えてみることです。口に出す前や SNS でのリアクションの前にです。

腹が立っているのか。

悔しいのか。

恥ずかしかったのか。

悲しかったのか。

わかってほしかったのか。

少し距離を置きたかったのか。

その気持ちに気づけると、言葉は少し変えられます。

「うぜー」ではなく、「今は少し放っておいてほしい」

「死ね」ではなく、「その言い方は傷ついた」

「きもい」ではなく、「そういう言い方は苦手だ」

「だるい」ではなく、「今は気持ちが追いつかない」

「ムカつく」ではなく、「バカにされたように感じて悔しかった」

感情を言葉にすることは、弱いことではありません。むしろ、自分の気持ちを大切にしながら、相手も傷つけないための強さです。周りに流されるものではない自分の気持ちです。

言葉は、人を遠ざけることもできます。でも、言葉は、人ともう一度つながるためにも使えます。だからこそ、私たちは、強い言葉を投げる前に、自分の本当の気持ちに近い言葉を見つける練習（意識）をしてみませんか。私たちが心がけたいのは、イヤな気持ちになったときに、すぐに強い言葉で返さないことです。自分の気持ちを伝える言葉を見つけよう。

3年 沖縄修学旅行

5月26日～28日の2泊3日、3年生は修学旅行に沖縄へ行ってきました。本校の修学旅行は平和学習を軸に訪問地を決定しています。今年度は、昨年に引き続き、沖縄へ行くことに。沖縄の自然と文化、そして戦後80年を経てもなお残る戦争の爪痕から平和を考えました。

1日目は、民泊体験。ホストファミリーの方たちのもてなしを受けながら、琉球舞踊を体験したり、サーターアンダギー作りを体験したりと沖縄文化に触れました。民泊体験をしない生徒たちは先生たちと「おきなわワールド」に出かけて沖縄の自然と文化に触れました。

2日目は、民泊先のホストファミリーの方たちと別れを告げた後、糸数アブチラガマを訪れました。糸数アブチラガマは、南城市玉城字糸数にある自然洞窟(ガマ)です。沖縄戦時、もともとは糸数集落の避難指定壕でしたが、日本軍の陣地壕や倉庫として使用され、戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となったところです。ここには、軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊が配属されたそうです。生徒はヘルメットを被り、1人1人懐中電灯を手に、ガマに入りました。全長 270m のガマ内には 600 人以上の負傷兵が収容されていたそうです。真っ暗なガマのなかで、ガイドさんからの話を聞きながら、戦時中の沖縄の人の生活へ想いを巡らせました。その後、平和の礎を訪問し、資料館で経験者の証言資料を読んだり、本土復帰、戦後復興を進める沖縄のパネル展示を見たりしました。その後、美ら海水族館に移動し、沖縄の自然を感じました。

3日目は、首里城公園で外観はほぼ修復が終わった首里城正殿などを見学したのち、国際通りでの班別行動をしました。



修学旅行の詳細は note で紹介しています。



1年みなとみらい校外学習、2年鎌倉校外学習



3年生が修学旅行に時期を合わせて、1、2年生は校外学習に行きました。それぞれ、班別行動でそれぞれの目的地へ向かいました。



校外学習は、仲間作りや協力しての課題解決、課題の探究、社会のルールを学ぶ機会として行っています。事前学習から積み重ねての活動です。



生徒の状況を踏まえて、3年次の修学旅行を考えていきます。

給食はクラス前配膳に

4月から、中学校給食が全員喫食となっています。

保護者の方には、給食ポータルへの登録作業の際、不具合等でご不便とご心配をおかけしました。6月からはごはんサイズの選択ができるようになりました。月ごとの選択です。すぐには変更の反映はしませんのでご注意ください。

本校では、4月下旬にエレベータが完成し、2階教室を改装した配膳室で給食の仕分け作業ができるようになりました。加えて、各教室前まで、配膳員さんが運んでくれるようになり、生徒の準備時間が短くなりました。

給食は一般食とアレルギー対応食の2種類が用意されています。それぞれ、工場内では別工程で調理されています。市内をいくつかのグループに分けて、それぞれの献立ローテーションで調理されているので、一般食とアレルギー対応食の献立が異なります。アレルギー対応食を食べる生徒は、事故を防ぐため、配膳室で配膳員さんから直接給食を受け取ります。

始まったばかりの中学校給食です。教育委員会とも協力して改善を進めていきます。



配膳室には、配膳員さんのロッカー、牛乳用冷蔵庫などが設置されています。



左 アレルギー対応食
右 一般食
献立が違う日もあります

前期中間テスト



6月11日、12日の2日間、前期中間テストが行われました。保護者の中学生時代とは評価方法が変わっており、定期テストだけで評価されることはありません。授業中の小テストやレポート、振り返りシートなど複数の資料で評価します。

それでも、定期テストは大きな区切りのテストになります。計画的に準備をして、知識の定着具合を確認します。

生徒総会

6月18日、令和8年度生徒総会が行われました。生徒会長からは、「生徒総会を実施する目的とは各委員会が具体的にどのような活動を行っているのかを知るためであり、各委員長と本部で話し合ったことを全校生徒に提案し承認か否認かを決めてもらうため」と趣旨説明があり、「自分には関係ないではなく、自分も生徒会会員の一員だという意識を持って生徒総会に臨んで」欲しいと呼びかけられました。

主権者教育の一つでもありますね。生徒会活動が主体的に行われるよう、先生たちも応援しています。

今年の生徒会の活動目標は「一笑懸命(いっしょうけんめい)」だそうです。「笑いながら、楽しく皆が一生懸命に活動する」という意味が込められているとのこと。



より良い教育環境に……ふるさと納税は鴨居中へ

昨年度は、エレベーター設置工事が行われ、バリアフリー化が少し進みました。また、インターフォン設置工事も他校に先駆けて完了しています。今年度は、4階普通教室のエアコン設置工事、4階普通教室の屋上断熱工事が予定されています。これらは市教委の事業で実施されます。昨年度、生徒会本部から申し入れのあった放送室や生徒会室のエアコン設置は、授業で使わない教室ということから、学校配当予算で工事をしなければなりません。しかしながら、予算計画に余裕がなく、残念ながら環境整備が後回しになっている状況です。

皆さまにお願いします。充実した教育環境を早期に実現するために「ふるさと納税」で鴨居中学校を応援していただだけませんか。鴨居中学校を指定して「ふるさと納税」をしていただくと寄付額が学校配当予算に入り、学校の備品等の購入ができます。返礼は「生徒の成長」です。重ねてのお願いになりますが、**吹奏楽部では楽器が不足しています。使わなくなった楽器がお手元にありましたらお声かけください。**



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/soudan/kifu-kankyo.html>

7月の主な予定

7月1日 区国際平和スピーチコンテスト

7月7日～10日 三者面談

7月14日 多様な進路セミナー

7月16日 大掃除

7月17日 長期休業前全校集会

7月18日～ 夏季休業(8月26日まで)

※学校閉庁日8月3日～8月16日

☆スクールカウンセラー来校日は、

月曜日・水曜日です。

申し込みは、副校長・生徒指導専任まで

熱中症に注意を

学校では登下校、体育の授業で熱中症予防の観点からマスクを外す、ジャージを脱ぐよう声かけをします。生徒の判断で着脱をしますのでご承知おきください。

また、部活動遠征の際は、**十分な水分を持っていくようにしてください。**特に学校会場の場合、鴨居中学校のように自動販売機が自由に使える場所ばかりではありません。移動中の購入が難しいこともあります。その点を踏まえ、準備をお願いします。